

区政 N O W ! (19年10月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

挨拶



この11月で、私が区長に就任して3年が経過しました。「区政は区民を幸せにするシステムである」という考え方の下、懸命に区政運営に取り組んでまいりました。3年の間に450を超える新規施策などを実施し、区政は着実に前進したものと自負しております。区民の皆様が「幸福」を実感できる地域社会の実現のため、残る任期の1日1日を大切に、区民から託された責務を全うしてまいりますので、一層のご理解と力強いご支援をお願い申し上げます。

荒川区制施行75周年記念式典

10月8日(月)サンパール荒川大ホールにおいて、区に功勞していただいた方々をお招きして、荒川区制施行75周年記念式典を開催しました。

式典では、区議会議員をはじめ、区内町会長や区がお世話になっている方々、交流都市の市長など主要な方々にもご出席いただき、小中学生による絵画コンクールの表彰式、「荒川区民のための幸福(しあわせ)ファンファーレ」の発表、小中学生による未来に向けた呼びかけと歌、商店街の歌「しあわせ通り」の披露などを行いました。



最近の出来事

MACC(マック)プロジェクトで新商品を発表

MACCプロジェクトで取り組んでいる健康・福祉関連製品開発プロジェクトにおいて、産学共同の製品開発の第1弾となる「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)勉強会 成果発表会」が9月26日(水)に開催され、4つの新商品が紹介されました。

エクササイズスリッパ、メタボマイゲージ、メタボ解消着、運動強度管理装置

日暮里安全・安心ステーションの開設



10月23日、区内で4番目の安全・安心ステーションが第二日暮里小学校の敷地内にオープンしました。

日暮里安全・安心ステーションは、日暮里本通り交番が廃止されたことを受け、地域の安全を確保するため区が独自に設置したものです。開設時間は8時30分から17時15分までで、地域の方の防犯活動の拠点として活用されます。

荒川区から衛星打ち上げを応援する会 Kickoff の発足



平成20年の夏に打ち上げが予定されている宇宙航空研究開発機構のH2Aロケットに、都立航空高専（産業技術高専）が開発する超小型衛星KK5-1が搭載されます。

この超小型衛星は、教員4人と学生15人が放課後、土日、夏休み等を返上して作り上げたもので、筐体の開発等には区内の企業が協力、支援しました。

この快挙に接し、東京商工会議所荒川支部に協力を呼びかけ、地域を挙げて衛星打ち上げを応援すべく、この度、応援する会の発足に至りました。

応援する会では、募金をしていただいた方のメッセージをマイクロチップに転写して、超小型衛星に乗せて一緒に打ち上げる予定です。

【問い合わせ】東京商工会議所荒川支部 電話 3803 - 0538



都電荒川線沿線ウォークラリー開催

都電荒川線の日（10月1日）を記念して、9月29日に都電を利用し、沿線の観光スポットや史跡文化財、商店街などを歩いて巡る「都電荒川線沿線ウォークラリー」を開催しました。

コースは4コース、いずれも沿線の魅力を再発見出来る散策コースとなっており、各コースにあるチェックポイントでスタンプを押して、2コース以上歩いてゴールすると完歩賞などのほか、抽選で賞品が贈呈されました。また、当日は沿線の商店街で商品の割引や湯茶のサービス、トイレ・休憩場所の提供などがあり、観光ボランティアガイドの方々も観光スポットの案内を担当し、参加者にまち歩きを楽しんでもいただきました。



人事戦略構想を策定しました

「区政は区民を幸せにするシステム」という区のドメイン（事業領域）の下、区民の期待に応えられる知識や能力を兼ね備えた職員集団を形成していくため、新たな人事政策の指針である「人事戦略構想」を策定しました。この構想では、組織や人材などの視点から4つの戦略を掲げるとともに、これを実現するための取組として、20の行動プランをまとめました。そのうち、若手職員の育成や次世代リーダーの育成、新たな目標管理の導入など、重要性が高くかつ即応すべき施策9つを重点プランに位置付けました。